Кресту Твоему поклоняемся, Владыко, и святое воскресение Твое славим

小田原･平塚･ 修善寺･ 柏久保正教会だより
2018年7月1日発行　第191号

КРЕСТЪ
クレスト

2018年7月号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1
TEL/FAX：0465-22-2792 携帯　070-5079-3408
E-mail: holyspiritodawara@gmail.com
教団 HP: http://www.orthodoxjapan.jp/
小田原正教会 HP: http://odawara-orthodox.com/
郵便振替口座(小田原): 00270-6-15226

神使(しんし)の軍(ぐん)の見(み)えずして
荷(にな)い 奉(たてまつ) る萬有(ばんゆう)の王(おう)を
戴(いただ)かんとするに縁(よ)る。
アリルイヤ。

ヘルヴィムの歌の祝文より

大聖入(だいせいにゅう)

聖体礼儀の中盤、聖書の詠みを終えると、祈祷は次の段階へ進む準備をする。「ヘルヴィムの歌」が歌われるなかで大切な奉事に向けての司祭の祈祷が終わると、大聖入がはじまる。このとき両手で掲げているのが、聖盃(せいはい)(ディスコス/パンの皿)と聖杯(せいはい)(ポティール/ぶどう酒の器)である。

●五旬祭後第5主日・衆聖人の主日聖体礼儀（第4調）

7月1日（日）　10:00～　(9:30 痛悔)
使徒経:ロマ 103 端(10:1-10)
福音経:マトフェイ 28 端(8:28-9:1)

●五旬祭後第7主日聖体礼儀（第6調）・月例パニヒダ

7月15日（日）　10:00～　(9:30 痛悔)
使徒経:ロマ 116 端(15:1-7)
福音経:マトフェイ 33 端(9:27-35)

7月8日(日)東京復活大聖堂にて全国公会が開催されるため、小田原でのご祈祷はありません。
8th of July, we do not have any Sunday liturgy in our parishes for Annual General Meeting held in Tokyo.

●五旬祭後第8主日聖体礼儀（第7調）・信徒総会

7月22日（日）　10:00～　(9:30 痛悔)
使徒経:コリンフ前 124 端(1:10-18)
福音経:マトフェイ 58 端(14:14-22)

●五旬祭後第9主日聖体礼儀（第8調）

7月29日（日）　10:00～　(9:30 痛悔)
使徒経:コリンフ前 128 端(3:9-17)
福音経:マトフェイ 59 端(14:22-34)

◆信徒総会◆
―小田原教会―
本紙 P4 に公示と委任状があります。
―平塚教会―
本紙 P5 に公示があります。

聖体礼儀解説(27)

～ヘルヴィムの歌～　その③

（前回からの続き）

古代の祈祷書には、神品領聖の後、「*喜びよ、来たれ。この世は過ぎ行かん*」と唱える部分がありました。聖体礼儀が私たちを導こうとするところは、まさにこの「喜び」の場所であることがわかります。表信者聖マキシモスは大聖入について、『*それは人に対する神の慮りについて天に於いて行われる新たな教えの始まり、神秘という内陣に隠された人の救いに関する奥密の啓示*』と表現しています。

「小聖入」のとき、司祭は福音経を顔の前に掲げて、この世に降誕し私たちに福音を宣べ伝えるハリストスを象りました。「大聖入」のときは、司祭は聖なる祭品（パンが置かれたディスコスとぶどう酒が注がれたポティール）を顔の前に掲げて、十字架に掛けられるためにゴルゴダの丘に登るハリストスを象ります。大聖入の厳かさの中で、私たちはハリストス来臨の事実を体験します―最も聖なるお方が諸聖人と全ての義人とに伴われて私たちのところにやって来るのです。ヘルヴィムと諸天使の軍勢、夥しい数の無形の天軍が見えずしてこれに先立ち、聖なる歌を歌いながら、秘密の祭のために供えられる天の王・ハリストスの御前に廻り翔んでいるのです。ハリストスは天の軍勢に伴われながら、その手に私たちの生命、この全宇宙の生命を携えて至聖所の中に入ってきます。**聖なる祭品は、ハリストスによって神のもとに返される人と全世界です。大聖入は、人と全世界の神への帰還と献上をも象っています。**

『**今此の世の慮りを悉く退く可し**』という聖言と共に、私たちは自分たちの生命そのものが祭として献ぜられ、死を以て私たちを復活へと導くハリストスに委ねます。**苦しみも、悲しみも、喜びも、敵も、友も、活ける者も、死せし者も、すべてはハリストスの手の中にあるのです。**そして、このお方が私たちのために全てを神・父に献げてくれるのです。このとき、私たちは主に冀います、『主よ、爾の国に於いて、我を記憶せよ』と。この言葉は、『今一度私を死の過ちより救い出して、生命にして真理たるご自身の中に私を置いてください』という切なる私たちの願いの言葉です。

奉献台から聖宝座への聖なる祭品の移動は、主がヴィファニアからイエルサリムに移られたこと、王の中の王が聖なる都に入城したことを象っています。司祭は、光栄の王をお運びするに相応しい全く穢れのないロバとなります。信者は、自分の衣の代わりに、自ら地に伏すことで光栄の王を迎える準備をします。

聖祭品を宝座の上に移し終えると、王門が閉じられます。これは生命を施すハリストスの墓の封印を象っています。このとき、私たちは、尊きイオシフがハリストスのお身体を浄き布に包み、新たなる墓に納めたよう、至聖なるハリストスのお身体を納める新たなる墓を自分たちの心の中につくらねばなりません。そして、それを情熱をもって守るのです。**光を衣の如く纏った新たなる人が生まれ出るのは、まさに死と共に古き人を葬ったこの墓からなのです。**

最近の出来事・消息

小田原　**聖神降臨祭聖体礼儀・屈膝晩課**　5 月 27 日（日）は小田原教会の堂祭である聖神降臨祭を祝いました。聖神降臨祭は復活祭から数えて 50 日後の日曜日に祝われます。したがって「五旬祭」と呼ばれます。またこの日に神父・神子・神聖神の三位で一つである神が人に明かされたことから「至聖三者の主日」とも呼ばれます。聖体礼儀に続いて屈膝晩課を行いました。これは聖使徒らが共に膝を屈めて祈っているところに聖神が各人の上に降りたという聖使徒行実の記録から行うものです。そしてこの日から「天の王、なぐさむる者や」という、ハリストスを信じる者が集うあらゆる会の始まりに歌う聖歌が歌われます。この聖歌は「聖神が私たちの間にあって、私たちの心をきよめ、導いて下さい」という願いとともに聖神に向けて歌います。また、5 月 16 日から小田原に滞在していた弘前大学研究員のマリア・カポニ姉も共に祝い、参祷者ひとりひとりにアーモンドクッキーをプレゼントしてくださいました。マリア姉は 28 日に日本を発ちました。

五旬祭後第一主日・　婦人総会　6 月 3 日（日）　聖神降臨祭を終え、新たな祈祷のサイクルが始まったこの日、小田原教会婦人会の総会が行われました。司祭とミハイル神谷忠明執事長を合わせて 8 名で行われました。婦人会として新たな一年明確な活動を行うことを目標とし、来会出来ない会員の為にも、今できることを考えて行う方向性を確認しました。議事録は婦人会員に同封していますのでご高覧ください。

柏久保　**６月の境内地整備活動**　6 月 9 日（土）9 時 30 分より、柏久保教会境内地整備を行いました。柏久保教会の境内で春先から雑草が増加し、少なくとも年に 3 回こうした境内地の雑草取りと木々の剪定を行わないとなりません。昨年より、その 1 回を毎年 6 月に行っています。9 名が集って奉仕しました。事前に有志の方々でお時間のある度に雑草を取っていただいていますが、それでも瞬く間に雑草をまとめたゴミ袋が山になりました。活動後は昼食を頂いて解散しました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

修善寺　**五旬祭後第二主日聖体礼儀**　6 月 10 日（日）10 時より、聖体礼儀を行いました。復活祭を終えて、普段のサイクルに戻りましたが、修善寺教会では経年劣化による信徒会館について考えなくてはなりません。6月 30 日、今の信徒会館に代わる建物についての執事会を開催します。皆様の祈りと助言をお願いいたします。

平塚　7 月 14 日(土)に信徒総会を開催します。詳しくは 5 ページをご覧ください。

教区　6 月 24 日(日)午後 2 時から東京ニコライ会館にて 2018 年度東京大主教区　教区会議が開催され、小田原教会から 2 名、修善寺教会から 2 名の信徒が出席しました。またその日の東京復活大聖堂教会での聖体礼儀には聖歌奉仕として 4 名の信徒が奉仕しました。

2018年7月1日

信徒各位

宗教法人　小田原ハリストス正教会
代表役員　司祭ディミトリイ 田中仁一

公　示

至聖三者の御名に由りて、ご平安お祈り申し上げます。

宗教法人小田原ハリストス正教会規則第一七条に基づき、2018年度小田原ハリストス正教会信徒総会を下記のとおり開催します。

記

日時：2018年7月22日（日）聖体礼儀後
場所：小田原ハリストス正教会信徒会館

(1) 2017年度小田原ハリストス正教会活動報告
(2) 2017年度小田原ハリストス正教会決算報告
(3) 監査会計報告
(4) 2018年度小田原ハリストス正教会活動計画
(5) 2018年度小田原ハリストス正教会予算案
(6) 2018年度会計監事の選任
(7) 執事会役員の改選
(8) その他

以上

欠席される方は委任状の提出を必ずお願い致します。
郵送・ＦＡＸ・Ｅメールにて受付。　〆切 7/22 正午。

キリトリ線

委 任 状

宗）小田原ハリストス正教会御中

私は、2018年7月22日（日）に行われる「2018年度小田原ハリストス正教会信徒総会」を欠席いたします。ついてはこれに際し、委任状を提出し、決議の一切を議長に委任いたします。

2018年＿＿＿月　＿＿＿日

聖　名＿＿＿＿＿＿＿＿　姓　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

送付先 FAX:　0465-22-2792/email: holyspiritodawara@gmail.com

平塚教会信徒総会
公示

日時：2018 年 7 月 14 日 (土) 10:00～12:00

場所：横田祥子姉 宅

2018 年度信徒総会が行われます。平塚教会の信徒の皆様、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

※ 信徒総会開催の前に感謝祈祷を行います。

平塚ハリストス正教会
管轄司祭 ディミトリイ 田中 仁一

全国公会

日時：2018 年 7 月 7 日（土）～8 日(日)

東京復活大聖堂・ニコライ会館

※柏久保・修善寺各教会での聖体礼儀はありません。

※小田原教会での代式祈祷はありません。

■定額献金納付にご協力くださり、心より感謝申し上げます。さっそく皆様からのご協力を賜っておりますが、定額献金領収の証は献金袋の表面の領収印です。会報の献金報告には掲載されませんので、予めご了承ください。

献金報告　　6/20 現在　日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏　　名	摘　　要
5/27	山口　敏之兄	感謝献金
	芝田　三郎兄	感謝献金
	村越 ナジェジダ姉	感謝献金
	匿名	感謝献金
	木下 アナマリア姉	感謝献金
	渡辺　和枝姉	感謝献金
6/3	阿久津　八重子姉	感謝献金

日付	氏　　名	摘　　要
6/17	日比野　俊二兄	パニヒダ献金
	匿名	パニヒダ献金

婦人会献金：

日付	氏　　名	摘　　要
5/27	山口　敏之兄	
6/3	神谷　武夫兄	

【2018年7月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	主日調/聖書の読み
1	日	**五旬祭後第5主日聖体礼儀(10:00)**	7/1　第4調 使徒経：ロマ10：1-10 福音経：マト8：28―9：1 ●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
2	月		
3	火		
4	水		
5	木	[伊豆]	
6	金	[伊豆]	
7	土	[全国公会]	7/8　第5調 使徒経：ロマ12:6－14 福音経：マト9:1－8 ◆小田原でのご祈祷はありません。
8	日	[全国公会]	
9	月	[健康診断]	
10	火		
11	水		
12	木	[小田原執事会]　聖ペトル・パウエル祭	
13	金	[小田原執事会(予備日)]	
14	土	**平塚教会 信徒総会(10:00)** [私祈祷　14:00]　**主日晩課(17:00)**	7/15　第6調 使徒経：ロマ15:1－7 福音経：マト9:27－35 ●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう ●糖飯当番:日比野恵美子姉
15	日	**五旬祭後第7主日聖体礼儀・月例パニヒダ・定例連絡会(10:00)**	
16	月	海の日	
17	火	[小田原会計監査]	
18	水	[小田原会計監査(予備日)]	
19	木		
20	金		
21	土	**主日晩課(17:00)**	7/22　第7調 使徒経：コリ前1:10－18 福音経：マト14:14－22 ●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
22	日	**五旬祭後第8主日聖体礼儀・信徒総会(10:00)**	
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		7/29　第8調 使徒経：コリ前3:9－17 福音経：マト14:22－34 ●婦人会昼食当番 昼食はありません。
29	日	**五旬祭後第9主日聖体礼儀(10:00)**	
30	月		
31	火		

＊[　　]内は司祭の活動＊

＊聖体礼儀に参祷し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう＊

＊ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。＊

7月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
31日	長司祭イヤコフ	山口　精一	1953年	山口　晃
2日	マリヤ	重田　スエ	1972年	重田　仁
3日	イオフ	岩本　仙治	1993年	岡野　康子
6日	ソフィヤ	神谷　ハマ	1998年	神谷　幸夫
6日	イヤコフ	村松　彌幸		村松　伸子
7日	イリナ	神谷　和子	1939年	神谷　武夫
9日	イリヤ	加藤　憲一	1990年	加藤　宏
9日	コンスタンチン	安達　東吾	1972年	安達　紀彦
9日	イオシフ	石川　芳雄	1913年	石田　浩一
12日	シメオン	日比野　長吉	1909年	日比野　勇
13日	ニーナ	世古　恵子	2014年	神谷　幸夫
14日	ソフィヤ	日比野　ハル	2001年	日比野　勇
16日	アガフィヤ	高橋　ならし	1951年	松川　ゑみ
17日	ニフォント	廣石　與志雄	2008年	廣石　清子
20日	ウエラ	假野　うら	1913年	假野　美枝
21日	リンマ	長澤　むら	1943年	
21日	サヴィン	日比野　一郎	1988年	日比野　正男
23日	ワシリイ	阿久津　潔	2009年	阿久津　八重子
25日	アキラ	加藤　　章	2003年	
26日	ワッサ	日比野　ワサ	1908年	日比野　正男
27日	ユリヤ	山本　聖子	1990年	山本　保
27日	ソフィヤ	重田　タマ	1926年	重田　仁
30日	アナスタシア	百瀬　美智子	2008年	百瀬　久
	ザハリア	横田　道也	2013年	横田　祥子
31日	フェオドラ	秋山　ふみ	1990年	山口　晃
31日	ミヘイ	神谷　徳次郎	1896年	神谷　武夫

今月は第 3 週日曜日に永眠者の記憶を祈る「パニヒダ」を行います。聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの霊(たましい)が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。（月例パニヒダの日は必ず会報をご確認ください。）

ちょっとだけ

イコン学　～イコンの使用を理解するために～　①

イコン(ギリシャ語 Εικόνα / 英語　Icon)とは像とかイメージという意味合いがあります。最近は複雑なパソコンの操作も「アイコン」と呼ばれる単純なマークをひと押しするだけで機能を展開できたりしますが、このアイコンの語源も「イコン」から派生しています。私たちの教会も同様、イコンは私たちに天の世界、聖書の世界、教会の教えを分かりやすく示しています。教会の教えを伝えるという使用目的があるかぎり、イコンには絵画である以上に法則に則った描き方があります。そうでなければイコンが教会の教えの混乱のもとになってしまうからです。私たちがイコンの使用を理解するために、職業別聖人伝をお休みしてイコン学の基礎を 4 回に分けて紹介します。今回はイコンの発生までの歴史を簡単にたどってみましょう。(一部 2017 年度学びの会の内容と重複します。)

紀元１世紀-2 世紀：主ハリストスも地上に生きたこの時代、キリスト教徒間で使用するイコンはまだありませんでした。その後もキリスト教徒迫害のため、そして偶像崇拝との混同を避けるために、信仰に関して絵で描き表すといったことを行いませんでした。

紀元３世紀：迫害時代前後から、キリスト教徒は信仰を表現するために、まず「シンボル」を使い始めました。その頃の特徴は古代ギリシャや古代ローマで従来より使用されてきた図像でした。例えば図１の魚は、自分がキリスト教徒であることを暗に示すために人々が魚の絵を描いたと言われています。その中の文字はギリシャ語で「Ι イイスス Χ ハリストス Θ 神の Υ 子 Σ 救い主」という各単語の頭文字で、それらを合わせると古代ギリシャ語の「魚(イクシス)」に相当することから、この図像が使われるようになりました。

図1

図２

図２では中央に X と P が組み合わさっています。英語のアルファベットでは X(エックス)と P（ピー）と読みますが、ギリシャ語のアルファベットでは、ハリストスの「ハ」と「リ」に該当します。また A(アルファ)と Ω（オメガ）の文字も見られます。ギリシャ語のアルファベットの最初の文字はアルファで最後の文字はオメガです。これは新約聖書の最後の書簡である黙示録の「私ははじまりであり終わりである」というハリストスの言葉から由来しています。さらにはギリシャ語で「愛する」を意味するΑγαπώ(アガポー)からその単語の語頭と語尾を取り、キリスト教徒間での信仰の表明と教えの伝達に使用されたのでした。(続く)

洗礼おめでとう！　エレナ 菊池 春奈 ちゃん（0 歳）

２０１８年６月２３日（土）小田原

イオアン 菊池 浩司兄とロクサーナ姉ご夫妻の次女が受洗しました。
写真は菊池さんご一家と代母アリーナさんとその娘エレナちゃん。
幾年も！幾年も！幾年も！(右の画像は一部加工。)